



甲田

ゆり子NEWS

—生まれ育った中野を笑顔輝くまちに—

■発行元:中野区公明党議員団

令和4年第3回定例会 総括質疑より(2022.9.26)

新井薬師前駅周辺 まちづくりの進捗状況



問い合わせ まちづくりの進捗状況を伺う。

答 9月1日現在、以下の通り。

①交通広場の用地取得における進捗率

面積ベース	約16%	画地ベース	約46%
-------	------	-------	------

②薬師駅前協同ビルの取得状況 進捗率(%)

土地	8筆／22筆 取得	約36%
部屋数	40部屋／67部屋 取得	約59%
テナント	26名／47名 契約済	約55%

③新井薬師前駅地区市街地再開発事業

区域面積 約0.7ha	権利者数 31名 (共有を1カウント)	現在の協議会加入率 (23名) 74%
----------------	------------------------	------------------------



令和2年8月に権利者主体の新井薬師前駅地区再開発協議会が設立された。現在は準備組合の設立に向けて検討中。

問い合わせ 中井駅・野方駅間の連続立体交差化事業(事業期間:令和9年3月31日まで)について、再延伸ということはないか。

答 現在は用地取得率も9割を超え、掘削工事等を行っている。今後は、シールド工法による駅間のトンネル構築に着手し、新たな地下駅の構築と併せ、事業期間内の完成を目指すと(東京都から)聞いている。

新井薬師前駅周辺 まちづくりのビジョン



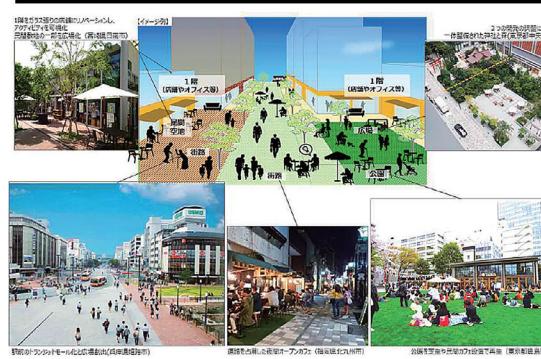
問い合わせ 「西武新宿線沿線まちづくり推進プラン」(平成29年策定)の中に記載されている、「哲学堂公園及び哲学堂公園周辺都市観光拠点整備計画」は、酒井区長誕生後、平成30年10月をもって廃案とされたため、同プランとの整合が取れていないのでは。

答 まちの回遊を誘導するための環境整備を行う取り組みは、他の計画の見直しに限らず必要なことと考えている。取り組み内容が大きく変わることはない。

問い合わせ 街の資源・特色を生かし、中野駅からのコントラストを意識した商店街形成、回遊ルートの整備を。中野区は、国土交通省が進めているウォーカブル推進都市にも登録をしていることから、新井薬師前駅周辺でも「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成を目指していくべき。

答 新井薬師前のまちのポテンシャルは非常に高く、これを中野駅との連続性も含めて考えることにより魅力が引き出せる。区民に対する情報発信を丁寧に行いながら「居心地が良く歩きたくなる」まちなかの形成に資するよう努めていきたい。

「居心地が良く歩きたくなるまちなか」イメージ図



居心地が良く歩きたくなるまちなかのイメージ
出典:国土交通省令和元年報道発表資料▶



上高田地域の防災まちづくり

問い合わせ 上高田地域の防災上の課題について区の認識は、「上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区防災まちづくりの会」が作成した提案書をもとに、具体的に何を行うのか。

答 上高田地域(特に二丁目と三丁目の一部)は、震災時に甚大な被害が想定される整備地域として指定され地域危険度が高く、防災まちづくりを進めていくことが必要なエリアであると認識している。区として、当提案書の内容を精査し、地区計画などのまちづくり施策に反映させていく。

問い合わせ 防災まちづくりは、ハード面・ソフト面の両方が重要なため、区の防災を所管する部署や地域支えあい推進所管も含め、庁内組織でしっかりと周知しておくことが大切では。

答 地域の意向が反映された提案書を庁内の関連部署に周知するとともに、ハード・ソフト両面の防災対策を講じていく

▼2022年11月19日(土)上高田一・二丁目及び三丁目周辺地区防災まちづくりの会による防災まちづくり提案書報告会が行われました

